

佐賀県議会議員選挙公報 (唐津市・東松浦郡選挙区)

佐賀県選挙管理委員会



唐津市・玄海町を元氣なまちへ！希望あるまちへ！

木村



ゆういち

42歳

プロフィール

昭和47年呼子生まれ(42歳)
鎮西町出身の船乗りだった父と
北波多村出身の母の長男として誕生する。
その後、6歳の時に鏡へ引っ越す。

昭和60年 鏡山小学校卒業
昭和63年 鏡中学校卒業
平成3年 唐津東高等学校卒業
平成7年 創価大学法学部卒業

大学卒業後、地元の唐津に貢献したいとの思いから、唐津で就職。
人材育成や業務開発を行い、営業課長として活躍。妻と子ども二人の四大家族。



公明党公認

木村

ゆういち

その1

唐津市・玄海町の魅力を 生かしたまちづくり

◎地域の特産品や観光資源を生かした新商品や
サービスの開発を支援し、新たな産業化を目指します！

その2

活気ある豊かな地域づくり

◎「子ども・子育て支援制度」を強力推進し、更に女性の
活躍を支援します。
◎若者の定住を図る支援策を進めます。

その3

安心・充実の 社会保障

◎安心して暮らせる地域医療・
介護体制づくり。
◎原子力防災対策を進めます。
◎子どもの可能性を伸ばす
教育環境づくり。

桃崎みねとの政治信念

北部九州の中心である佐賀県が持つ資源、財産を
最大限に活かし、唐津・玄海の若者が地元に残り、
夢と希望を持って生活できる郷土づくりのために、
私は粉骨砕身努力して参ります。

若者が定着できるための、産業振興と西九州道を
活かした企業誘致
安全安心の街づくりと、道路網等社会資本の整備
農業者と、国際競争に勝ち抜く担い手農家の育
成
森を守り育てるための人材育成と、森林行政の拡
充
玄海地区の水産振興と、唐津港湾整備と有効活用
集落維持と離島や市街地周辺地域の振興と、生活
環境の改善
観光資源の再認識と、広域一体となる事業の推進
スポーツ基盤整備と、マリンスポーツ等の大会
誘致
唐津日赤病院を核とした医療体制の強化
人を育て、人を守る教育・警察機関の環境づくり
日本の玄関となるべく、日韓トンネル実現への取
組み

前回の選挙期間直前に日本中を震撼させた東日本
大震災、原発事故から四年が過ぎてなお、被災地の
復興はいまだに途上であり、被災地の方々の苦しみ
は、察するに余りあります。
我が佐賀県がそのような苦しみにあわないために、
安全・安心・住みよい街づくりを、地方議員の使命
と受けとめ、三期十二年の経験を糧として再度県政
の場に挑戦します。

明日を拓くために 全力投球!!



桃崎みねと



自由民主党公認

大場よしひろ

地域を もっと元気に！

凛として前へ

「明るく豊かな郷土を創る！」私の政治テーマであります。
農村や山村漁村、それはまさに日本の原点です。このかけがえ
のない美しい故郷の山川の風景は、その地域を必死に守り続け
る人々のおかげだと考えています。
今こそ地域が持つ美しい風景の価値を改めて認識し、後世に引
き継いでいかなければなりません。また地域独自の観光資源を
新たな成長産業ととらえ、中心市街地の賑わい、商工業の発
展につとめ、より一層元氣な地域づくりに挑戦し続けるため、
県政に臨みます。

農林水産業・商工業の振興を図り 地域経済を元気に！

農林水産業、それぞれの振興に取り組み、後継者が意欲を持つて
取り組めるよう振興策に力を注ぎます。商工業において、地方に
いても仕事ができる多様なライフスタイルの実現を目指します。
●唐津コスメティック構想推進事業を加速
●企業誘致や本社機能・研究機関の誘致
●唐津市の中心市街地の活性化

福祉・教育の充実を図り ひとを元気に！

女性・子どもたち、人々の明るい笑顔は地域の元氣の源です。
子育てにやさしい地域づくりに取り組めます。
●子どもたちの学力向上と豊かな知識人の育成
●障壁の有無や老若男女を問わず誰もが働ける労働環境

地域再生を図り 故郷を元気に！

ふるさとに「誇り」を持つことで地域再生を図ります。
●虹の松原と白砂浜の再生・保全
●環境・観光・文化資源を守り未来につなげる
●人口減少社会に真剣に取り組む、男女ともに仕事と家庭が両立
できる社会づくり

防災体制の構築を図り くらしを元気に！

安心して安全に暮らせることは豊かな生活の基本となります。
●原子力防災対策充実事業で迅速かつ的確に対応できる体制強化
●土砂災害防止対策の早急な対応
●西九州自動車道・佐賀・唐津道路等幹線道路と唐津東港の整備
推進

平成27年4月12日執行

佐賀県議会議員選挙公報 (唐津市・東松浦郡選挙区)

佐賀県選挙管理委員会



無所属 40才

よしの ひでき

唐津市、東松浦郡の

有権者の皆様へ

一、私の同級生は、ほとんど地元に残っていません。

ストッパ！若者の人口流出。

住みやすい町づくりの実現を、

二、政治とカネの問題提起として

寄付は頂きません。

後援会は作りません。

この二つを私の政策としています。

私は県民の皆様目線で佐賀を

みつめ、佐賀のために何か出来れば

と思っております。

生活に密着した課題について一緒に

考えていけたらと思っております。

新人の未熟者ですが、宜しく

お願い致します。

よしの ひでき

活力あふれる地域に 県議会議員2期(8年)の実績と経験

あなたと創ろう元気なわがまち

田崎のぶゆき



田崎のぶゆき

(自由民主党公認)

〔生年月日〕昭和29年7月唐津市切木生まれ(60歳)

◎唐津市立切木小・中学校卒業、県立唐津工業高校(機械科)卒業 ◎昭和48年
上場農業協同組合奉職 ◎平成15年/JA上場専事兼総務管理部長 ◎平成18年
JAから上場地区営農本部長

議会議

◎平成19年/佐賀県議会議員(2期) ◎平成22年/文教厚生常任副委員長 ◎平成
23年/地域経済・雇用対策特別委員長 ◎平成24年/産業常任副委員長 ◎平成25
年/県土整備常任委員長 ◎平成26年/議会運営副委員長

自民党歴

◎平成22年/自民党佐賀県連政務調査会副会長 ◎平成25年/自民党佐賀県連党
紀委員長 ◎平成25年/自民党佐賀県連監査委員

① 農は産業の礎

- ・農林水産業の活性化と儲かる産業へ
- ・生産基盤の整備と担い手の育成
- ・養殖漁業の推進と藻場育成
- ・農商工連携と6次産業への取組み
- ・地域ブランドの創造とデザイン化
- ・商工業の再生と観光資源の再開発
- ・ものづくり産業の育成支援対策
- ・輸出対策と外国人観光客の誘致

② 県政を身近に

- ・地域の課題や問題等を県政へ反映
- ・高齢者や障がい者等の負担軽減
- ・離島振興と支援対策の強化
- ・幹線道路・漁港の整備と防災対策
- ・原発避難道路と防災・避難計画の整備
- ・人口減少対策と企業誘致の推進
- ・雇用の確保と若年者の技能習得

③ 郷土に愛

- ・地域の伝統文化の継承と観光資源の開発
- ・名産品・特産品の発掘調査と情報発信
- ・教育環境の整備とスポーツの振興
- ・豊かな自然の保護と地域の宝の創造
- ・地域総合力の発揮と地方創生
- ・青少年と女性の活躍の場づくり
- ・住みよいまちづくりと災害・減災対策



よねくら 幸久

自由民主党公認
昭和23年 相知町生まれ
元相知町職員 元唐津市議会議員
佐賀県議会議員

ぶるさと創生
佐賀を元気に！

しごとづくり

- 若者の働く場の確保
- 足腰の強い農林水産業の育成

まちづくり

- 地方分権の推進
- 災害に強い県土づくり

ひとづくり

- 子育て環境の充実
- 生きる力を育む教育の推進

くらしづくり

- 安心して暮らせる社会づくり
- ゆとり・生きがい・誇りの
持てるくらしづくり

に取り組みます

ともに知恵を出し合い
より良いふるさとを
築いていきますよう

佐賀県議会議員選挙公報 (唐津市・東松浦郡選挙区)

佐賀県選挙管理委員会

29歳・若い力で
政治を動かす

「戦争立法」ストップ、井上 ゆうすけ、 9条・暮らし守れの声を 上げよう

財源は あります

- 自由に使える財政調整基金など413億円
- 県一般会計の黒字額40億円
- ムダな城原川ダムに1200億円

若者定住へ
家賃補助制度を
住宅リフォーム助成の復活
店舗リフォームにも補助を

子どもの医療費は
中学校卒業まで窓口無料に
小・中・高全学年で
少人数学級の実現を

地域経済を守り、暮らし、
福祉最優先の県政を
県の支援と、市の協力で
国保税一円引き下げ
介護保険の負担軽減

安倍暴走政治、不正腐敗
政治にノーのレッドカード
TPP 農協 消費税 10% 市幹部 公共事業 汚職 玄海 原発 再稼働

井上ゆうすけは、玄海原発の
見える肥前町でサッカー少年と
して育ちました。福島原発事故
から、原発の危険性に目覚め、2
013年から唐津市議会議員と
して原発ゼロ、再稼働ストップを
訴えてきました。



井上 日本共産党
ゆうすけ
1986年肥前町生まれ。
唐津工業高校卒業。民青佐賀県委員会副委員長
2013年唐津市議会議員当選

国会で21議席に躍進。安倍政 権と対決し、国民の立場で提案

後半国会は「戦争する国づくり」を具体化
する「戦争立法」が最大の対決点となります。

唐津・玄海では戦争立法を推進する自民党・
公明と9条を守る日本共産党の対決です。
21議席に躍進した国会と合わせ、佐賀県議
会でも日本共産党が2議席になれば、県民
のくらしと平和を守る大きな力になります。

井上ゆうすけ
個人演説会
市田忠義 来たる
参議院議員 党副委員長 リフレ
4月10日(金)夕方6時



井手 くにおき
早稲田大学卒 六五才
有機肥料野菜栽培の農家

「いかんもんは、いかん」と信念を持って生きてきました。
生産者・働く人・障がい者の視点で発言し行動します。
政治は川の流れの様に！

正しき事は果てしない川の様に！

佐賀「唐津」皆様の所にアベノミクスは届いているでしょうか？
皆様の暮らしは、本当に良くなったのでしょうか？
賃金は上がらない、色々な物価は上がって、生活を圧迫しています。

地方自治は住民が主役！

- 住民の視点で攻める議会の行政チェック機能強化！
- 行政の無駄削減、財政の透明、健全化！
- 人を育てる。子供たちの学力向上に取り組む！
- 政府は農協にドリルを突き付けた。地方で農協の果たしてきた役割は極めて大きい！
- 農林水産業の担い手育成が急務！
- 原発の再稼働凍結です！ドイツの首相は日本も「脱原発」を呼びかけています！
- 平和憲法の理念を守る。佐賀空港のオスプレイ配備は地元住民を無視しています！

農村社会資本施設老朽化で点検が必要

三月に入って二つの相談を受けました。どこの地区でも有る様な話です。
一つは農道の橋の老朽化（危ないので注意の区長名で立て看板）です。
少し上流の堰のコンクリートの一部が老朽化して漏水しています。
火災の緊急時にポンプ据えて吸水する場所です。農業用水防火用水で地区を流れています。

もう一つは川の堤防の中が崩落してコンクリートが宙ぶらりん状態です。
対岸の石垣の下が大きくぐらぐらしています。

二つの川は県の管理です。区長は住民の安心・安全に暮らし、農業生産現場を守る為に陳情しています。

交通ルールを守り、車間距離を取り交通事故を防ぎましょう。

佐賀は事故が減らない様です。検問も大切ですが、市民の生活道路では警察官が立って、指導も時には必要で大切だと思います。本部の勇気ある優しさを望みます。前本部長の離任の会見で「佐賀県の事故が減らない要因にドライバーの緊張感の欠如がある。ミニ検問を数多く実施し、裏通りまで警察がいるという環境をつくってきた」報じています。

○パート時給40円、給与の人4000円アップ！経営者・責任者の方
経営厳しく大変でしょうが協力お願いします。唐津地区は一人当たりの
平均所得が200万円以下です。県内の市の中でも下位の方です。

○「セクハラ・パワハラのない職場！」相談窓口の設置。働きやすい環境作り。



佐賀県議会議員 六期
佐賀県日本中国友好協会理事長

「人にやさしい政治をめざします」

格差社会の是正により、お年寄りや子供たちが安心して
暮らせる社会に実現を目指します。
集団的自衛権の行使容認や憲法改正への道を歩む、安倍
政権に反対し、平和で安心・安全な日本を目指します。
そのために、政策の実現に取り組んでまいります。

○集団的自衛権の行使容認に反対し、平和憲法を
守ります。

○玄海原発の再稼働に反対し、原発をなくすよう
に努めます。

○オスプレイの佐賀空港導入に反対いたします。

○消費税率の引き上げに反対いたします。

○アベノミクスに反対し、貧困と格差解消に取り
組めます。

○非正規職員をなくし、正規職員の拡大に努めます。

○安心して暮らせる福祉、医療、雇用の充実を図
ります。

○子育て支援の拡充のため、義務教育までの医療
の無料化を目指します。

○義務教育費の無料化の実現を図ります。

○25人学級の実現に取り組みます。

○雇用安定化を図るため、企業誘致を図ります。

○唐津港の再建と水産・物流機能の整備に努め
ます。

○TPPに反対し、農林水産業の振興と地産地消
の拡大に努めます。

いつでも、どこでも、だれとでも
対話の県政をすすめます。

平成27年4月12日執行

佐賀県議会議員選挙公報 (唐津市・東松浦郡選挙区)

佐賀県選挙管理委員会

一緒にやってみませんか！

「県政で取り組みたいことと、その理由。」

① 若者が働きやすい街づくりをめざします。

- ・一人当たり県民所得、唐津市は鳥栖市の半分(200万円)、工業生産は1/4、雇用増大のため企業誘致に積極的に取り組みます。それが少子化対策の第1歩。



② 中山間地の農業を守り、沿岸漁業の振興を図ります。(第1次産業の振興)

- ・農業と農協改革の中、中山間地が生き残る各種施策に取り組みます。
- ・藻場育成、漁礁の設置に積極的に取り組みます。



③ 国道県道の整備と道路景観美化活動に取り組みます。

- ・道路は街の顔、美しい景色をみんなの手で作しましょう！

④ 障がい者支援事業の輪を広げます。

- ・障がい者もお年寄りも共に働き、みんなの笑顔が広がる街を作しましょう！

⑤ 学校教育・青少年教育の充実を！

- ・学力向上、道德教育の向上に努めます。



「国・県の課題にどう取り組むか。」

① 玄海原発と再稼働をどう考えるか。

- ・玄海原子力発電所が国の厳しい安全基準をクリアしたら再稼働に賛成します。
- ・最終処分問題も国は積極的に取り組んでいます。経済再生にも必要。

② 佐賀空港へのオスプレイ誘致は。

- ・自衛隊のオスプレイの佐賀空港配備には賛成です。防衛力整備は国の最重要課題です。私たちは佐賀県民であり日本国民です。戦後70年日本が平和だったのは自衛隊と米軍がいたからなのです。

「佐賀県の活力再生のキーワードは。」

- ・国の「地方創生」は地方が主役。政策も、日本型農業の施策と一緒に「地域で取り組む」が基本です。いかに皆で話し合い合意を得て、一緒に取り組むかにかかっています。そのためのリーダーと行政力が試されます。キーワードは「地域を動かせ」。



前唐津市議会議員

井よつねのり (63)

自民党公認



フットワークとネットワークを活かし、県と唐津市・玄海町のパイプ役として走りまわります！
最後までのご支援
よろしくお願いします。

投票日は

4月12日 (日曜日)



あなたの一票大切に！

投票時間は

午前7時から 午後8時まで

※武雄市・有田町・大町町・太良町では、すべての投票所で投票時間が午後6時までとなっています。
※唐津市・嬉野市のすべての投票所、神埼市の一部の投票所で投票時間がそれぞれ変更されていますので、各市からのお知らせをご確認ください。

投票用紙の色は

うすいブルー

投票日に投票できない方は

4月12日の投票日に旅行や用務で投票できない方は
期日前投票きじつぜんを利用しましょう。

期日前投票は、選挙人名簿登録地の市町で投票日前日までに投票を行う制度で、手続きも簡単です。

■期日前投票ができる期間

4月4日(土)～4月11日(土)までの毎日

※8:30～20:00まで(土曜日・日曜日でもできます。)

- 投票用紙には、候補者の氏名のみを記入し、それ以外の字や記号は書かないでください。(投票自体が無効になる場合があります。)
- 候補者の氏名は、投票記載場所に掲示してある候補者一覧表をよく確認して記入しましょう。